

レール(トラック)は乗艇前・後、常に丁寧に点検とクリーニングが必要な部分です。

1 スライディングシートとレール

Track (Rail)

スライディングシート(座席)を載せるレールは、ネジで固定され、前後位置を調整できる構造になっています。

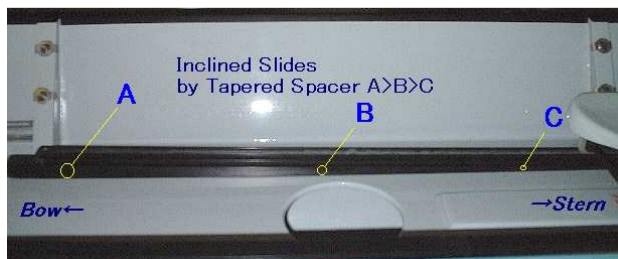


レールとシート

2 レールテーパ

Inclined Slides

レールは一般に、フロントストップ(後述)側にわずかに傾斜していて、これを「レールテーパ」と呼びます。水平なデッキとレールの間に、楔(くさび)状のスペーサが挟んであるタイプと、デッキパネル自体が傾斜しているタイプがあります。



テーパード・スペーサをはさむタイプ



レールを載せるデッキ自体が傾斜しているタイプ

3 フロントストップとバックストップ

Front stop, Back stop

レールの先端にはフロントストップが、後端にはバックストップがあり、シートが外れないようになっています。



フロントストップ、バックストップは、小さいけれど大切な部品

4 取扱と日常整備

Maintenance

4.1 日常の手入れ

日常的な整備として、乗艇後は十分に洗い、その際、特にレールの溝を、ウェスなどで拭き、きれいな状態を保ち、シリコンスプレーなどを吹いておきましょう。摩耗や亀裂、固定ネジ周辺の腐食、固定状態などもよく注意して点検しましょう。

黒く汚れたままのレールは、整備不良です。

4.2 定期的な整備

アルミレールをステンレスボルトで固定するタイプでは、特に海域で使うと、短期間で電食が発生し、放置しておくすぐにひどい状態になります。乗艇後の水洗だけでなく、定期的に分解・クリーニングを頻繁にすることが大切です。

海域では、少なくとも毎月1回、分解してきれいにクリーニング & 防錆処理すべきです。淡水域でも、約3カ月ごとにはクリーニングしたいものです。



特に海域では、十分な水洗いをしないと軽合金の電食が進む。

4.3 固定位置でわかるリギングの繊細さ

左右のレールの前後位置を正確に揃えておきましょう。左右のレール位置が違ると、前に出しすぎたレールが無駄であるばかりでなく、フロントストップにローラーが当たったときシートを回転させ、脱線の原因になります。



左右のレールは正確にそろえる。ずれると脱線のリスクが高まる。